

質問者 天水中学校 小川 聖史 議員 企画経営課

## 1 玉名市の将来像について

① 市の課題は人口減少、少子高齢化が進んでいることだと考えるが、これらに対する具体的な改善策として、どのようなことが計画されているのか

(答弁者 市長)

天水中学校 おがわさとし 小川聖史議員ご質問の「市の課題は人口減少、少子高齢化が進んでいることだと考えるが、これらに対する具体的な改善策として、どのようなことが計画されているのか」にお答えいたします。

玉名市の人口は、平成 17 年の国勢調査では 71,851 人、15 年後の令和 2 年の国勢調査速報値では 64,367 人でしたので、15 年間で 7,484 人、年平均約 500 人の人口が減少しています。

人口は、出生と死亡の関係による「自然動態」と、転入と転出の関係による「社会動態」の 2 つの要因で増減します。

玉名市のように人口の減少が続いている要因も、生まれる人数よりも亡くなる人数が多い「自然減」と、転入者よりも転出者が多い「社会減」が挙げられます。

ただ、子どもを産む年齢層における女性の人口が今後も減り続けることが確実であることや、しばらくの間は高齢者人口も増加するため、「自然動態」によって人口を増やすためには、長い期間が必要です。

したがって、短期、中期的に人口減少問題に対応するためには「社会動態」を増加させることが重要だと考えます。

市では、令和元年度に、「第2期玉名市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を作り、その中で、令和12年（2030年）の人口の数値目標を60,000人の維持と決めました。

その目標を達成するために、例えば、農林水産業の担い手育成、新規企業の誘致と雇用創出、観光の振興による雇用創出、医療・福祉の充実、若い世代の結婚希望の実現、切れ目のない妊娠・出産・育児支援の充実、特色ある学校づくりの推進、高齢者福祉の充実、防災体制の強化、など様々な分野にわたる22の施策に取り組んでいるところです。

これら22の施策を着実に進めていくことで、小川議員がご提案された“子育てしやすい街づくり”の充実した展開を図り、ひいては人口の数値目標60,000人の維持を実現したいと考えています。